**第７章　基本方針**

1. 江府町水道事業ビジョン作成実施方針

平成25年に厚生労働省において「新水道ビジョン」が示され、新たな知見を取り入れた水道事業の持続に向けた実現方策が示された。「新水道ビジョン」を指針として、新規に「江府水道ビジョン」を作成する。なお、水道ビジョンの作成にあたっては、経営の健全性・効率性、保有する施設の規模・能力や老朽化・耐震化の状況等を自らの経営の現状や課題を的確に把握したうえで、財源の裏付けに基づいた『江府町水道事業ビジョン（経営戦略）』として取りまとめを行う。

また、取りまとめに際しては、厚生労働省が作成した「水道事業ビジョン作成の手引き」に基づき以下に示す内容を記載する。

1. 事業の現状評価・課題

水道事業の現況をソフト・ハードの両面から分析し、評価する。分析に際しては、町が算定した業務指標値を活用し、水道事業の傾向把握、経年変化や類似団体との比較等の分析を行う。なお、分析に用いる業務指標は、持続・安全・強靭に着目・分類して地域・政策課題を抽出する。また、地域・政策課題をふまえ、施設整備に向けた課題を抽出する。

1. 将来の事業環境

外部環境と内部環境から将来の事業環境を予測する

ａ）外部環境

・給水人口の推移（将来の事業規模）

・施設の効率性（事業規模をふまえた施設の方向性。ダウンサイズや統廃合）

・水源汚染リスク（水源環境をふまえた水道施設の方向性）

ｂ）内部環境

・施設の老朽化

・資金状況

1. 基本理念（理想像）の設定

安全・強靭・持続に別に将来の水道事業の理想像を設定する。水道事業経営の現状や課題をふまえて、将来の水道事業の理想像を設定する。

1. 目標の設定

持続・安全・強靱のそれぞれの観点から目標を設定する。なお、目標の設定にあたっては、作成した「アセットマネジメント」、「耐震化計画」及び本業務にて策定する関連する業務指標を活用し目標を設定する

1. 推進する実現方策

「アセットマネジメント」、「耐震化計画」から決定した目標達成に向けた具体的な対策のとりまとめを行う。

1. 検討の進め方とフォローアップ

作成した水道事業ビジョンの今後の取組方について検討する。